

止まり木



ケセラセラ



新年あけましておめでとうございます。いよいよ3学期がスタートしました。本日の始業式でお話した内容を以下に紹介します。

おはようございます。また、あけましておめでとうございます。
いよいよ3学期がスタートしましたが、みんなは良い年末年始を過ごすことができたでしょうか。終業式でお話したように何かを決断することができたでしょうか。3学期はアツという間に過ぎていきます。新しい年度の0(ゼロ)学期のつもりでスタートしてほしいと思います。

昨年末の日本レコード大賞で2年連続で大賞を受賞したMrs. GREEN APPLE。校長先生はあまり関心はなかったのですが、日曜日(1月5日)に放送された『さんま・玉緒のお年玉 あんたの夢かなえたらか』を見て、感動するシーンがありました。見た人も多いと思います。北海道の全校生徒4名のある小学校が今年度で休校となり、4月から4名は別々の学校に通うこととなります。そんな彼らの夢をかなえるために4人が大好きなMrs. GREEN APPLEの3人が小学校を訪れます。その時に一緒に歌った曲が「ケセラセラ」です。4人の小学生の気持ちやメンバーの暖かさ感動したのはもちろんですが、その歌詞に心惹かれるものがありました。

ケセラセラとは、スペイン語で、直訳すると「何が来るものなら来るがいい」を意味し、未来の結果について過度に心配せず、現在の状況を受け入れるという意味合いを持っているようです。もっと簡単に言うと「なるようになる」ということで、「物事は自然の成り行きに従うもので、人の力ではどうにもならない」という意味です。諦めの言葉のようでもあります。自身の力でどうにもならない時には「なるようになる」と考えることで**前向きになる**ことができるという意味が込められています。

もちろん**何も努力や挑戦をせずに「なるようになる」という事ではありません**。うまくいかないことや結果の出ないことがあったとしてもこの努力はいつかきっと花開く、だから今を受け入れ、なるようになるさと前向きに考え進んでいくことが大切だと校長先生は思います。

歌詞の中に「**何のせい? 誰のせい? 勝てなくたっていい 負けない強さを持ちたい**

そうさ All right All right 乗り切ってみせる」という一説があります。

まさにこのことだと思えます。

「限界? 上等。やってやろうか。」そんな意気込みで3学期もみんなが困難に立ち向かっていってくれることを願っています。頑張ってください。

知っ得コーナー (知って得する? コーナーです)

2025年は、十二支の「巳(へび)」年。へびは、「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来をつかむ」というステキな意味を持っているのだそうです。

また、へびは、古くからさまざまな意味を持つ生き物として捉えられてきました。

へびの姿には、不気味さや苦手意識を感じる人もいる一方で、金運や繁栄をもたらす

縁起物として広く認識されています。さあ、今までの自分の殻を打ち破り、今まで以上の新しい自分に生まれ変わりますか。そこにはきっと幸せな未来が待っていると思います。



保護者のみなさま・地域のみなさま、今年も横堤中学校は前に前に進んでいきます。今後も変わらぬご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。